



**株式会社サンゲツ**  
**2023年3月期 決算説明資料**

# 目次

## ■ 2023年3月期 決算の状況 p.3

- 連結損益計算書 p.4
- 連結貸借対照表 p.5
- 連結キャッシュ・フロー計算書 p.6
- 2023年3月期 決算概要 p.7
- 連結売上高・営業利益・EBITDA・当期純利益の推移 p.8
- セグメント別売上高・営業利益 p.9
- 連結営業利益の増減 p.10
- インテリアセグメント 国内建設市場の状況 p.11
- インテリアセグメント 売上状況 p.12-14
- インテリアセグメント 値上げの数量面の影響 p.15
- エクステリアセグメント状況 p.16
- スペースクリエーションセグメント状況 p.17
- 海外セグメント状況 p.18

## ■ 2024年3月期 業績予想 p.19

- 2024年3月期 連結業績予想の前提 p.20
- 2024年3月期 連結業績予想 p.21
- セグメントの変更について p.22
- セグメント別業績予想 p.23
- 将来見通しに関する注意事項 p.24

# 2023年3月期 決算の状況

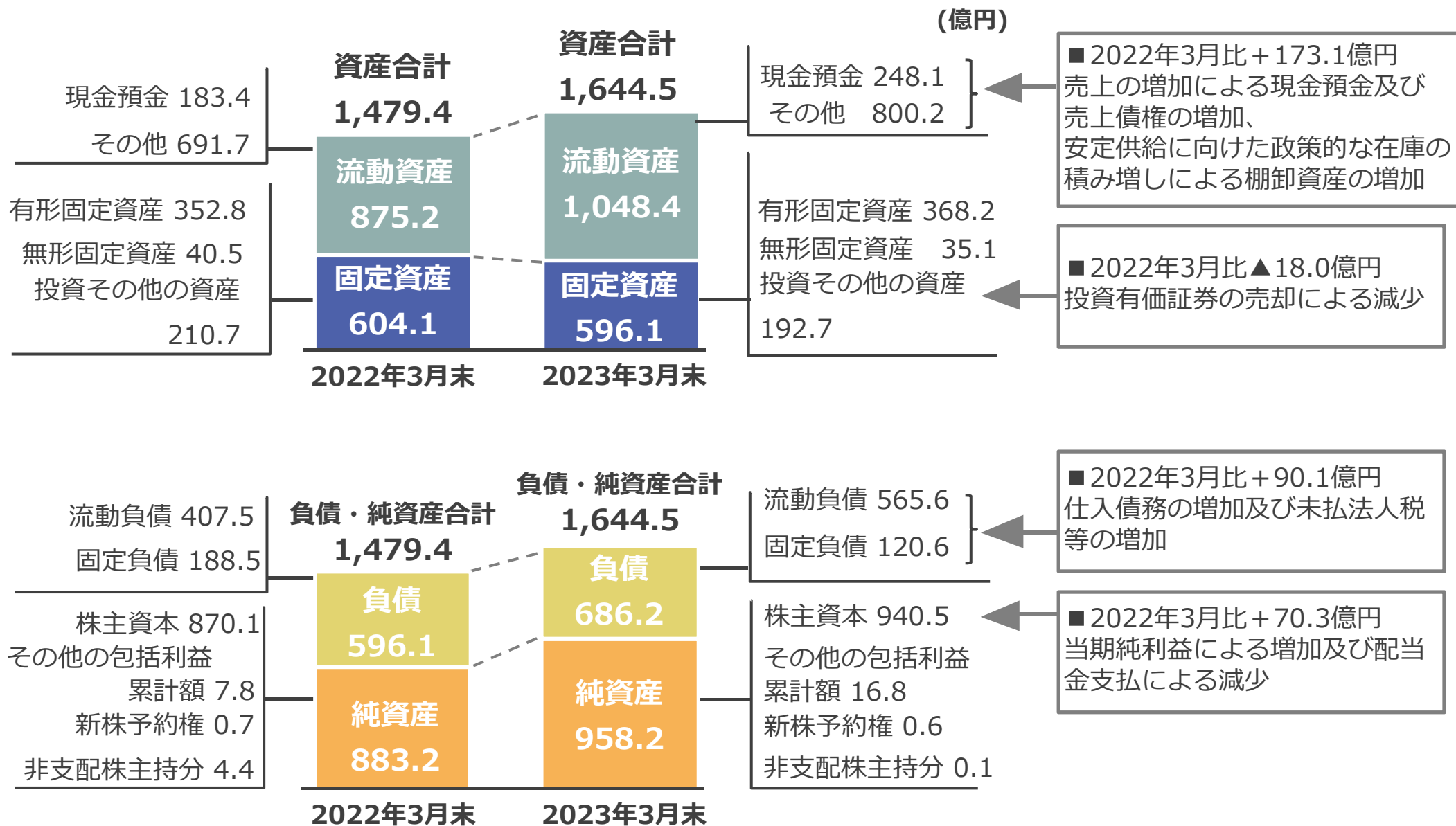
# 連結損益計算書

	2022年3月期	2023年3月期 (億円、%)			
	実績 (A)	実績 (B)	前期比 (B-A,B/A)	2月10日公表 通期予想 (C)	達成率 (B/C)
売上高	1,494.8	<b>1,760.2</b>	+265.4 (+17.8%)	1,740.0	101.2%
売上総利益 (利益率)	399.6 (26.7%)	<b>563.7</b> (32.0%)	+164.1 (+41.1%)	560.0 (32.2%)	100.7%
営業利益 (利益率)	79.5 (5.3%)	<b>202.8</b> (11.5%)	+123.2 (+154.8%)	200.0 (11.5%)	101.4%
経常利益	82.0	<b>206.9</b>	+124.8 (+152.2%)	205.0	100.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.7	<b>140.0</b>	+137.2 (-)	135.0	103.7%

増収・増益

売上高・各利益：全て過去最高を更新

# 連結貸借対照表

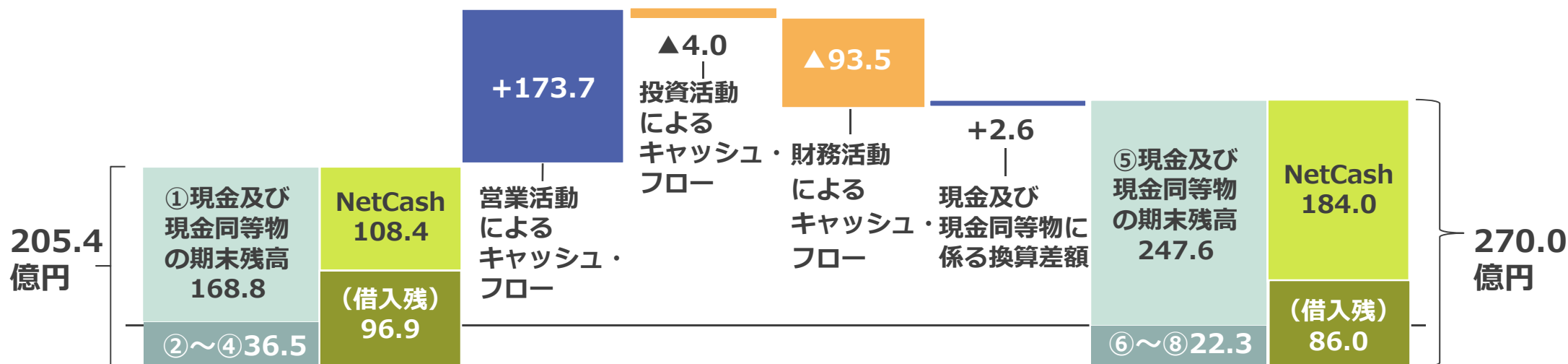


# 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物 78.7億円増加

■ 営業キャッシュ・フロー	+173.7
税金等調整前当期純利益	+204.4
減価償却費・のれん償却費	+37.4
売上債権の増減 (▲は増加)	▲55.5

■ 投資キャッシュ・フロー	▲4.0 (億円)
有形固定資産の取得	▲28.2
定期預金の減少	+15.1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却	+8.4
■ 財務キャッシュ・フロー	▲93.5
配当金支払	▲43.9
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得	▲27.6
借入金増減	▲14.2



## 2022年3月末

- ① キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 168.8億円
- ② 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 14.6億円
- ③ 有価証券 3.0億円
- ④ 投資有価証券(株式除く) 18.9億円
- ①~④ **205.4億円**

## 2023年3月末

- ⑤ キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 247.6億円
- ⑥ 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 0.5億円
- ⑦ 有価証券 3.0億円
- ⑧ 売却代金未入金の投資有価証券(株式除く) 18.8億円
- ⑤~⑧ **270.0億円**

# 2023年3月期 決算概要

## 1. 効率性・収益性

- ・ ROE : 15.3%  $\text{売上高純利益率 } 8.0\% \times \text{総資産回転率 } 1.1\text{回} \times \text{財務レバレッジ } 1.7\text{倍}$
- ・ ROIC : 16.5%
- ・ CCC : 77.1日
- ・ 売上高営業利益率 : 11.5%
- ・ EBITDA : 246.8億円

## 2. 安全性

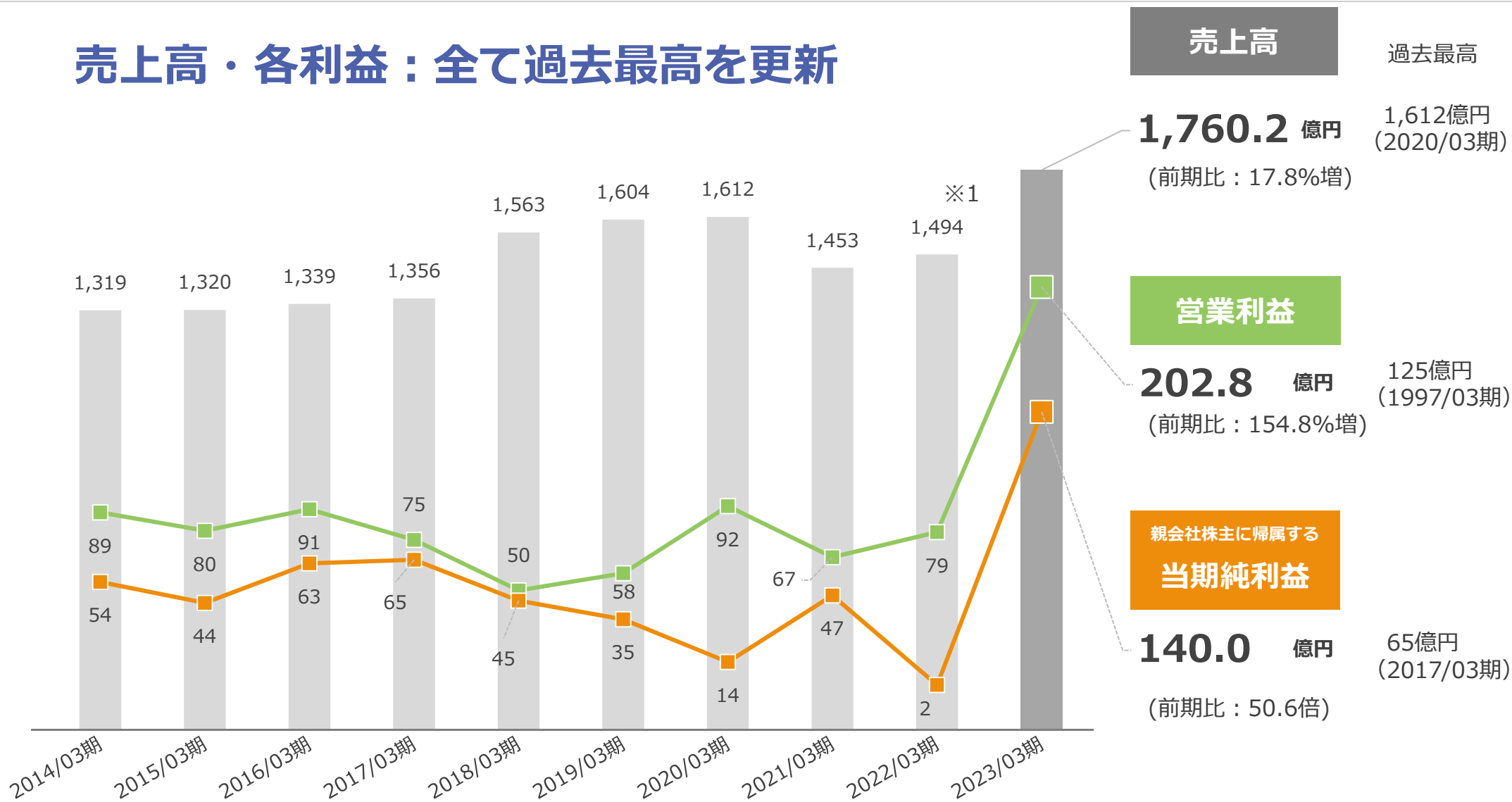
- ・ 自己資本比率 : 58.2%
- ・ 負債比率 : 71.7%
- ・ 流動比率 : 185.3%
- ・ 現金及び現金同等物 : 247.6億円
- ・ Net Cash : 184.0億円

## 3. 成長性

- ・ 売上高増収率 : 17.8%
- ・ 営業利益増益率 : 154.8%

# 連結売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の推移

## 売上高・各利益：全て過去最高を更新



※1 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。



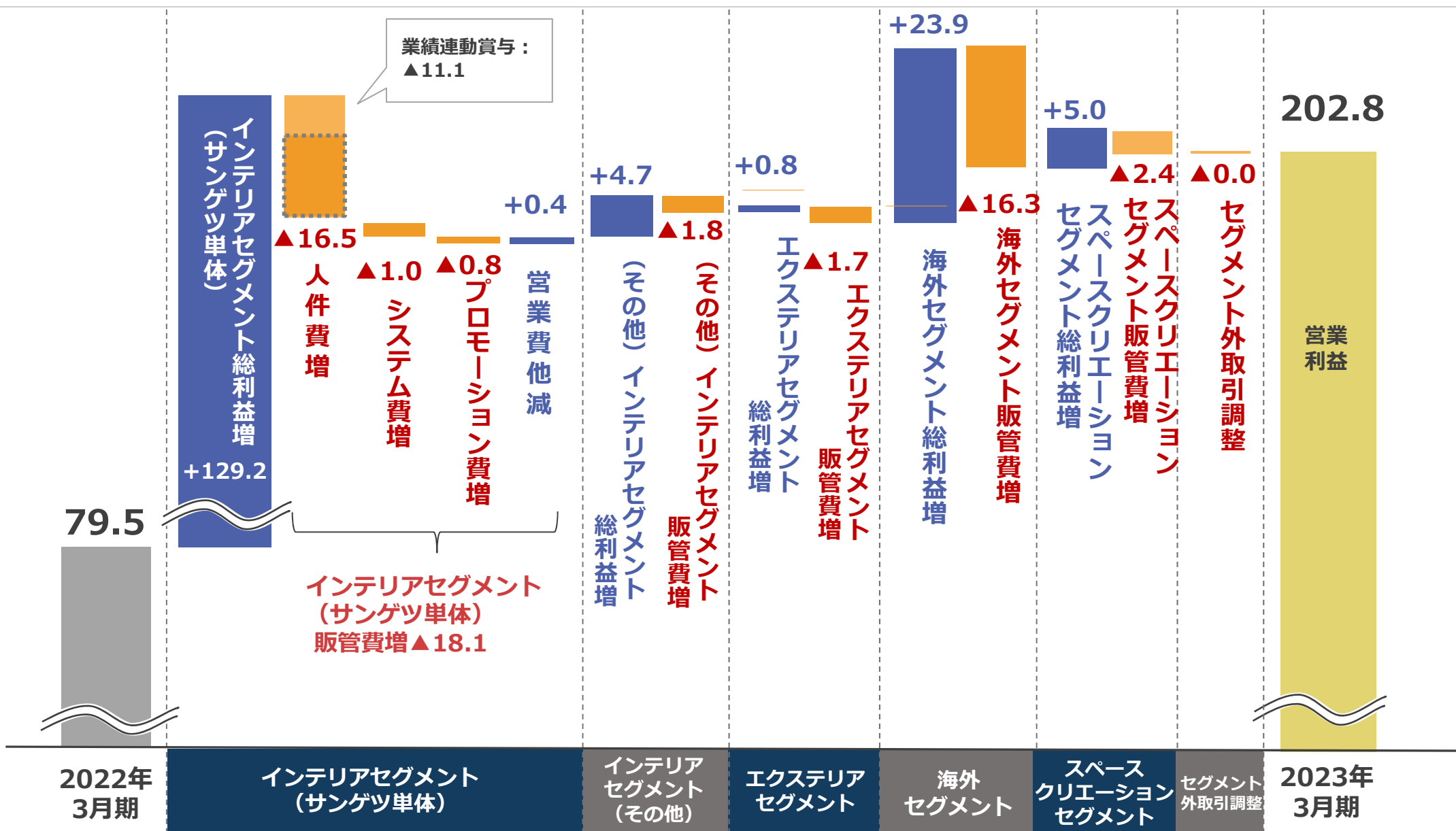
# セグメント別売上高・営業利益

収益認識に関する会計基準適用:有

事業セグメント	2022年3月期	2023年3月期 (億円、%)	
	実績 (A)	実績 (B)	前期比 (B-A,B/A)
<b>インテリアセグメント 売上高</b>	1,230.4	<b>1,419.4</b>	+189.0(+15.4%)
壁装材	623.3	<b>735.0</b>	+111.6(+17.9%)
床材	448.8	<b>521.5</b>	+72.7(+16.2%)
ファブリック	86.1	<b>95.1</b>	+9.0(+10.5%)
その他	72.1	<b>67.7</b>	▲4.3(▲6.0%)
<b>営業利益</b>	90.9	<b>205.0</b>	+114.0(+125.4%)
<b>エクステリアセグメント 売上高</b>	58.2	<b>62.9</b>	+4.7(+8.1%)
<b>営業利益</b>	5.4	<b>4.5</b>	▲0.9(▲16.8%)
<b>海外セグメント 売上高</b>	159.3	<b>216.7</b>	+57.4(+36.0%)
<b>営業利益</b>	▲18.2	<b>▲10.6</b>	+7.5(-)
<b>スペースクリエーションセグメント 売上高</b>	65.7	<b>77.4</b>	+11.6(+17.8%)
<b>営業利益</b>	1.3	<b>3.9</b>	+2.5(+179.9%)
セグメント間取引調整(売上高)	▲18.9	<b>▲16.3</b>	+2.5(-)
セグメント間取引調整(営業利益)	0.0	<b>0.0</b>	▲0.0(-)
<b>連結売上高</b>	1,494.8	<b>1,760.2</b>	+265.4(+17.8%)
<b>連結営業利益</b>	79.5	<b>202.8</b>	+123.2(+154.8%)

# 連結営業利益の増減

(億円)



# インテリアセグメント 国内建設市場の状況

## 住宅市場



### 新築

新設住宅着工統計 前期比 (2022年1月~12月)

新設住宅着工戸数 新設住宅着工床面積  
**+0.4%**      **▲2.3%**

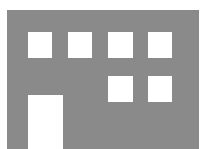
(持家 ▲11.3%、賃貸 +7.4%)

### リフォーム

国土交通省  
建築物リフォーム・リニューアル調査 (受注金額)  
前期比 (2022年4月~2022年12月)

住宅合計 **▲2.5%**  
戸建て +2.2%  
共同住宅 **▲7.0%**

## 非住宅市場



### 新築

民間非居住建築物着工床面積 前期比  
(用途別、倉庫・工場を除く)

2022年度 (4~3月) **▲6.5%**  
2021年度 **+4.2%**  
2020年度 **▲11.8%**  
2019年度 **▲7.4%**

### リニューアル

建築物リフォーム・リニューアル調査 (受注金額)  
前期比 (2022年4月~2022年12月)

非住宅合計 **▲4.1%**  
飲食 **▲30.3%**  
物販 **▲13.4%**  
医療 **▲13.6%**  
福祉 2.5%  
宿泊 +15.6%  
事務所 **▲0.7%**

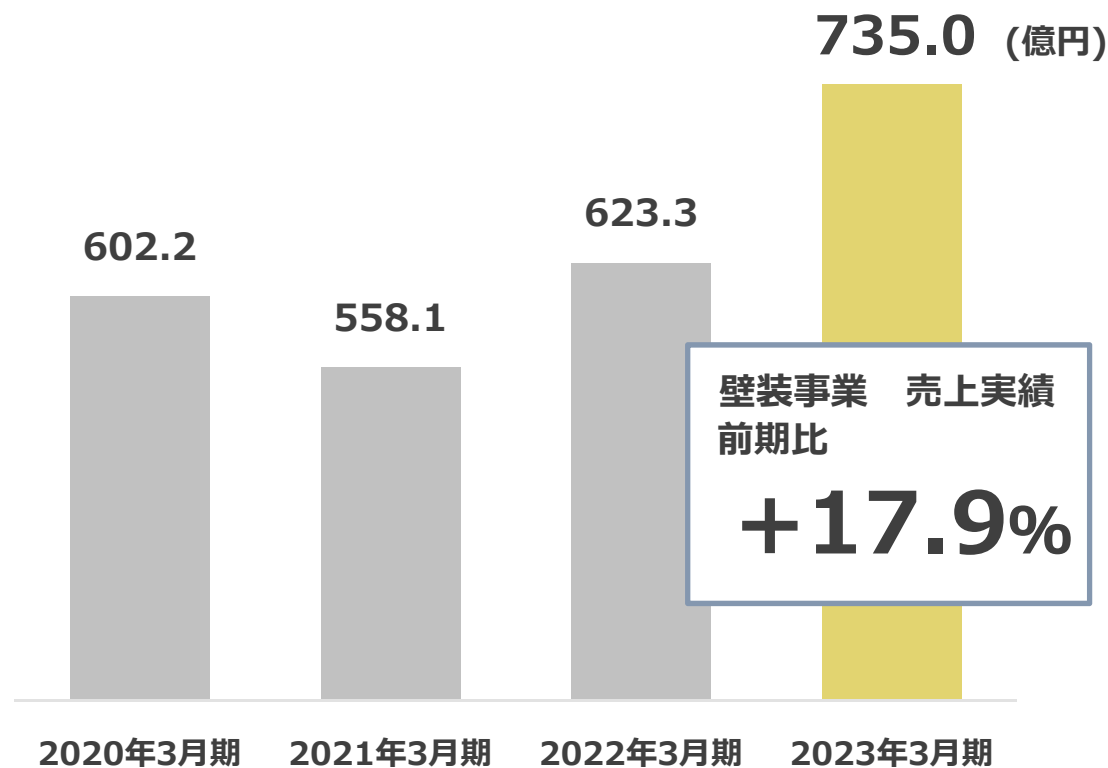
# インテリアセグメント 壁装材売上状況

## 業界全体の壁装材出荷数量 前期比

(2022年4月 - 2023年3月)

▲ **3.3%**

出典：一般社団法人日本壁装協会



- ・ 量産壁紙「SP」が引き続き堅調を維持
- ・ ガラスフィルム見本帳「クリアス」や粘着剤付化粧フィルム見本帳「リアテック」において、営業部門間での連携が奏功し、好調に推移

※2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

# インテリアセグメント 床材売上状況

## 業界全体の床材出荷数量 前期比

(2022年4月 - 2023年2月)

**+0.5%**

クッションフロア  
(住宅向け)

**▲1.0%**

フロアタイル  
(需要の約5割が住宅向け)

**+6.9%**

長尺シート  
(医療・福祉メイン)

**+5.7%**

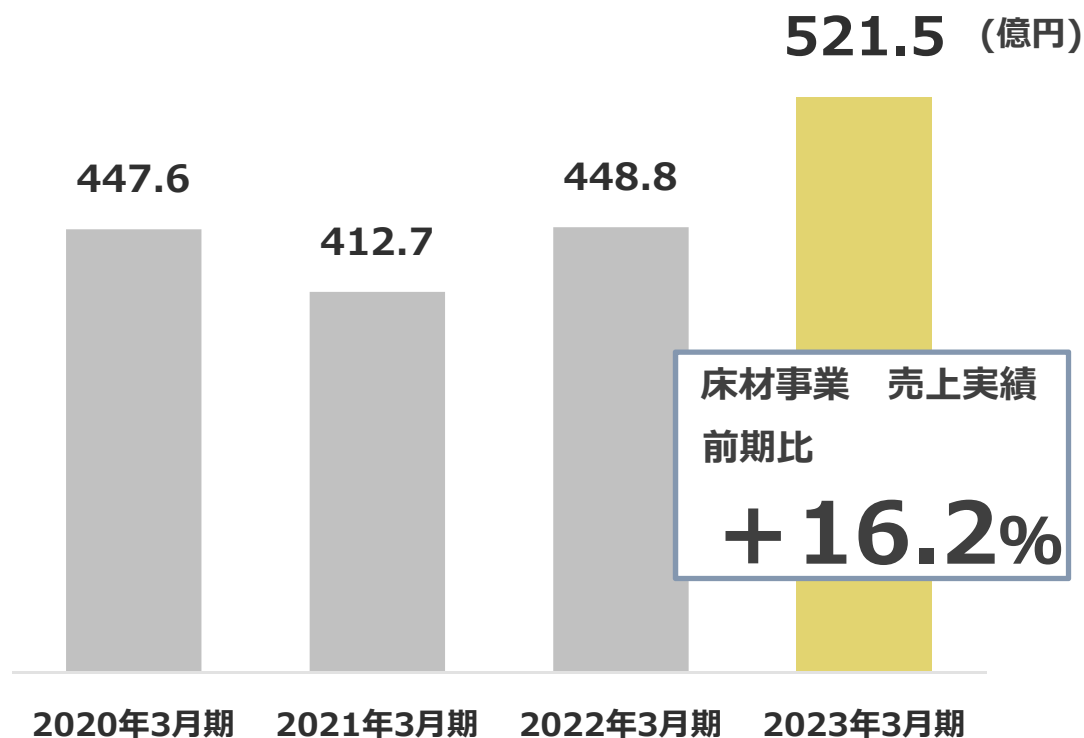
カーペットタイル  
(オフィスメイン)

**▲3.9%**

タフテッドカーペット  
(ホテル・住宅メイン)

**▲6.9%**

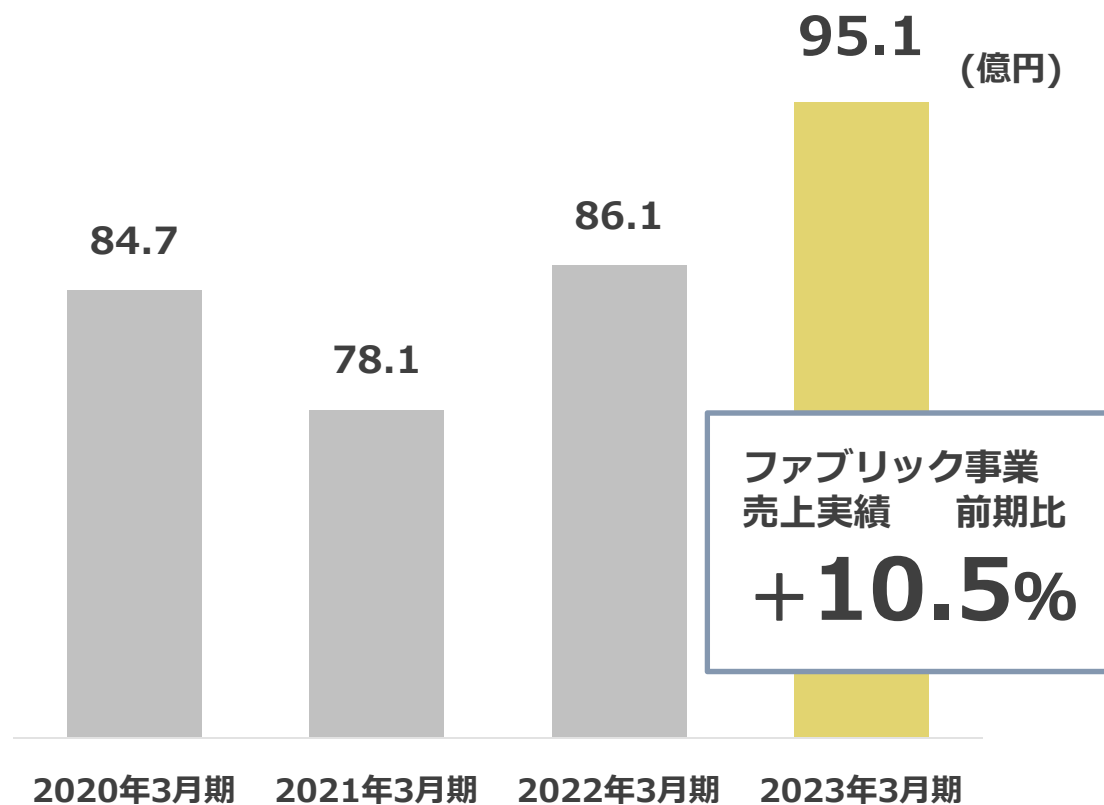
出典：一般社団法人日本インテリア協会（塩ビ系床材）  
日本カーペット工業組合（繊維系床材）



- ・ ビニル床タイル見本帳「フロアタイル」が堅調に推移
- ・ 低環境負荷商品を収録したカーペットタイル見本帳「NT700」が、環境配慮に向けた市場のニーズを捉え、オフィスを中心に採用が進んだ

※2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

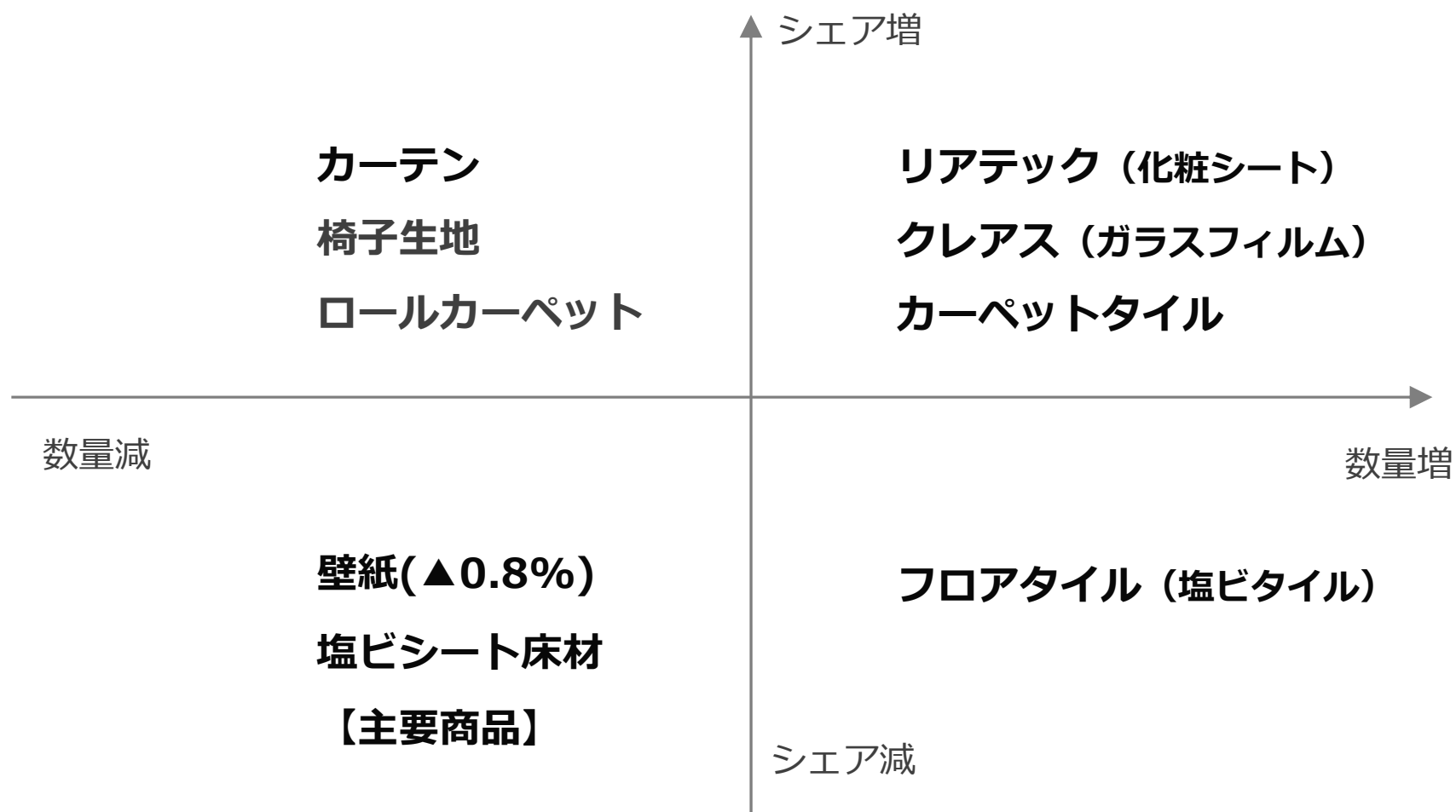
# インテリアセグメント ファブリック売上状況



- ・カーテン見本帳「ストリングス」が売上をけん引
- ・B to C事業を担うグループ会社サンゲツヴォーヌにおいては、EC事業やビルダー向け販売事業を通じた積極的な営業活動に努めた

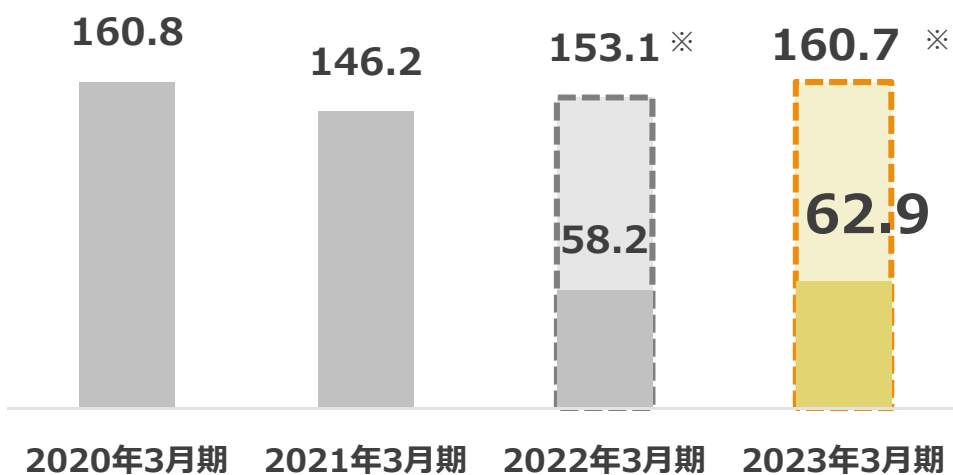
# インテリアセグメント 値上げの数量面の影響

## すべての商品において総利益増



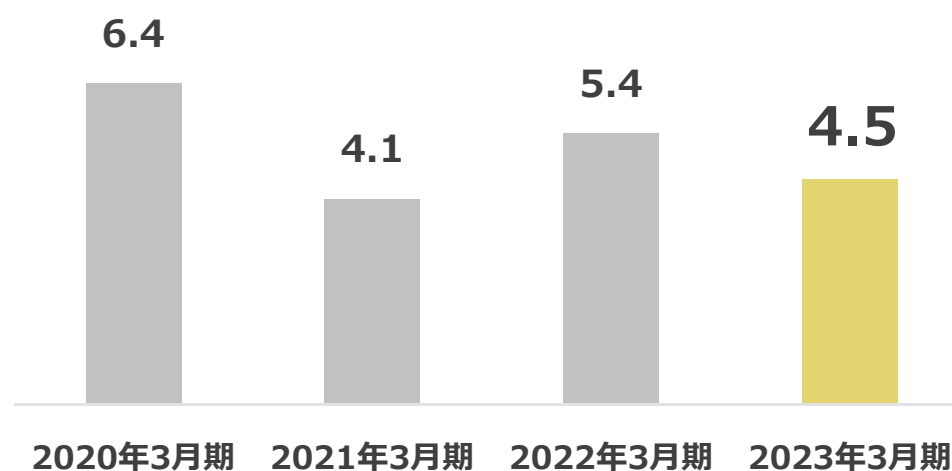
# エクステリアセグメント状況

## 売上高 (億円)



※ 収益認識基準適用：無

## セグメント利益 (億円)

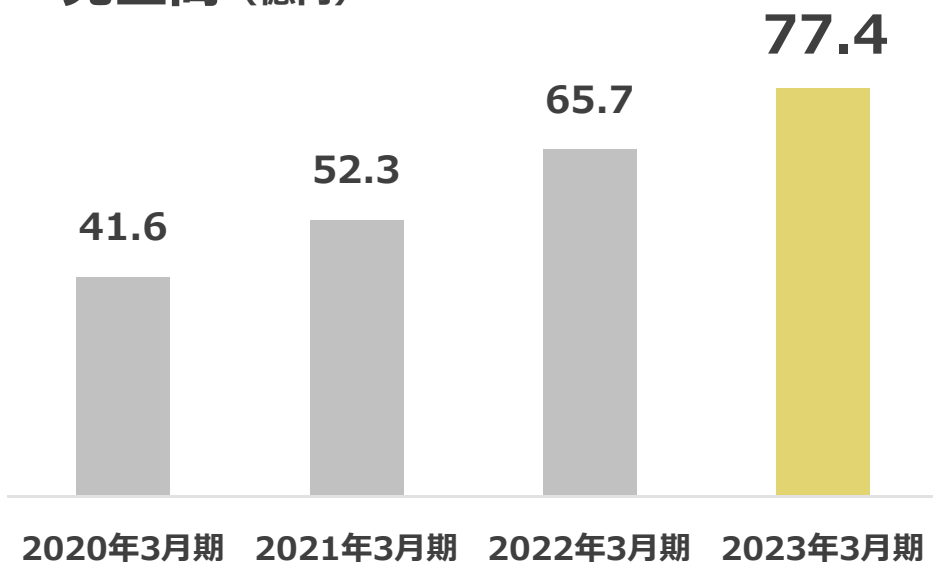


- ・株式会社サングリーンにおける、リフォームに重点を置いた営業活動や、非住宅分野における年度末需要等により、売上が伸長
- ・同社スペースクリエーション事業本部によるエクステリアの空間提案活動も拡大
- ・一方、成長戦略に基づく専門人材の拡充や事業体制の整備等の施策により、利益は減少

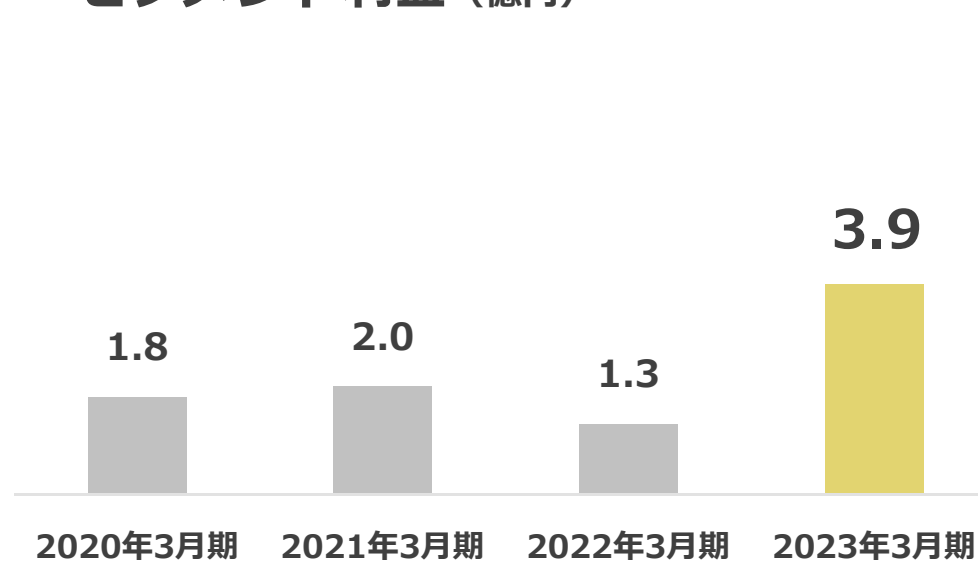


# スペースクリエーションセグメント状況

売上高 (億円)

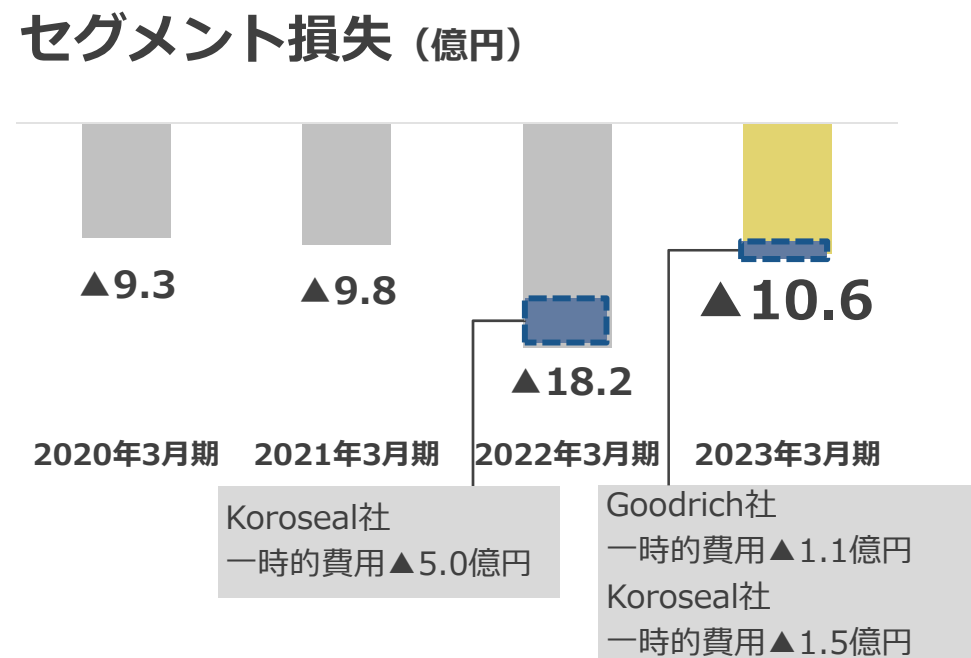
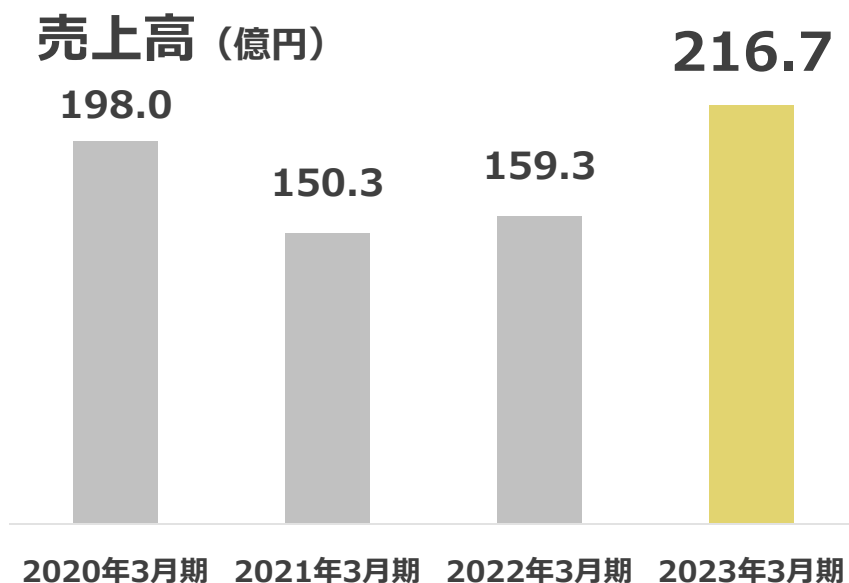


セグメント利益 (億円)



- ・フェアートン株式会社においては、首都圏や関西エリアにおける大型物件が完工し、売上に寄与
- ・サンゲツとの連携による営業活動を強化、物件獲得や新規顧客の開拓が進む

# 海外セグメントの状況



- ・北米市場では、自社製造壁紙が好調に推移したほか、大型物件への納品が売上に寄与。一方、在庫調整のための製造量減少による生産効率の低下や、業績連動賞与の増加に伴う販管費の増加等が、収益の減少要因に
- ・東南アジア市場では、経済活動の回復基調を受け、各拠点での営業活動が正常化し、堅調に推移
- ・中国・香港市場は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、依然として厳しい状況

# 2024年3月期 業績予想

# 2024年3月期 連結業績予想の前提

## 連結業績予想の前提

### 【外部環境・需要】

- ・住宅：新築/リフォームともに弱含みで推移
- ・非住宅：新築は21年度着工分が寄与、リニューアルは増加

### 【プラス要因】

- ・数量回復
- ・米国・東南アジア事業の改善

### 【マイナス要因】

- ・売上原価（仕入価格、物流費）の増
- ・賃金アップやキャリア採用、教育・研修費増加による人件費増

### 【値上げ】

- ・コスト上昇に対する価格転嫁は前提に含まず

# 2024年3月期 連結業績予想

	2023年3月期	2024年3月期 (億円、%)					
	実績(A)	通期予想 (B)	前期比 (B-A,B/A)	上期予想	前期比	下期予想	前期比
売上高	1,760.2	<b>1,830.0</b>	+69.7 (+4.0%)	875.0	+57.7 (+7.1%)	955.0	+12.0 (+1.3%)
売上総利益	563.7	<b>535.0</b>	▲28.7 (▲5.1%)	261.0	▲0.6 (▲0.3%)	274.0	▲28.0 (▲9.3%)
(利益率)	(32.0%)	<b>(29.2%)</b>		(29.8%)		(28.7%)	
販売費及び 一般管理費	360.9	<b>385.0</b>	+24.0 (+6.7%)	188.0	+16.3 (+9.5%)	197.0	+7.7 (+4.1%)
営業利益	202.8	<b>150.0</b>	▲52.8 (▲26.0%)	73.0	▲16.9 (▲18.9%)	77.0	▲35.8 (▲31.7%)
(利益率)	(11.5%)	<b>(8.2%)</b>		(8.3%)		(8.1%)	
経常利益	206.9	<b>154.0</b>	▲52.9 (▲25.6%)	75.0	▲17.6 (▲19.1%)	79.0	▲35.2 (▲30.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	140.0	<b>105.0</b>	▲35.0 (▲25.0%)	51.0	▲11.3 (▲18.2%)	54.0	▲23.6 (▲30.5%)

# セグメントの変更について

2024年3月期の期首より、報告セグメントを以下の通り3区分に変更いたします。

変更前	変更後	関連グループ会社
インテリア	国内インテリア	クレアネイト株式会社 フェアトーン株式会社 株式会社サンゲツヴォーヌ 株式会社サンゲツ沖縄 株式会社クロス企画
スペースクリエーション		
エクステリア	国内エクステリア	株式会社サングリーン
海外	海外	Koroseal Interior Products Holdings, Inc. Goodrich Global Holdings Pte., Ltd. Goodrich Global Limited

# セグメント別業績予想

		2023年3月期	2024年3月期					(億円、%)
		実績※	通期予想	前期比	上期予想	前期比	下期予想	前期比
国内 インテリア	売上高	1,479.8	<b>1,535.0</b>	+55.1(+3.7%)	<b>730.0</b>	+36.2(+5.2%)	<b>805.0</b>	+18.8(+2.4%)
	営業利益	210.9	<b>146.0</b>	▲ 64.9(▲30.8%)	<b>73.5</b>	▲ 22.1(▲23.2%)	<b>72.5</b>	▲ 42.8(▲37.1%)
国内 エクステリア	売上高	62.9	<b>67.0</b>	+4.0(+6.5%)	<b>33.0</b>	+4.0(+14.0%)	<b>34.0</b>	+0.0(+0.1%)
	営業利益	4.5	<b>4.0</b>	▲ 0.5(▲11.2%)	<b>1.5</b>	▲ 0.1(▲11.6%)	<b>2.5</b>	▲ 0.3(▲10.9%)
海外	売上高	217.5	<b>228.0</b>	+10.4(+4.8%)	<b>112.0</b>	+17.3(+18.3%)	<b>116.0</b>	▲ 6.9(▲5.6%)
	営業利益	▲ 12.6	<b>0.0</b>	+12.6(-)	<b>▲ 2.0</b>	+5.1(-)	<b>2.0</b>	+7.5(-)
セグメント間 取引調整	売上高	▲ 0.1	-	-	-	-	-	-
	営業利益	▲ 0.0	-	-	-	-	-	-
合計	売上高	1,760.2	<b>1,830.0</b>	+69.7(+4.0%)	<b>875.0</b>	+57.7(+7.1%)	<b>955.0</b>	+12.0(+1.3%)
	営業利益	202.8	<b>150.0</b>	▲ 52.8(▲26.0%)	<b>73.0</b>	▲ 16.9(▲18.9%)	<b>77.0</b>	▲ 35.8(▲31.7%)

※2024年3月期の期首より、報告セグメントを4区分から3区分に変更したため、2023年3月期の実績は変更後のセグメント区分に組み替えた参考数値となります。

# Joy of Design

## 将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。